

ピットの

コラムのピット

CHISATO HAMANO
ARAO SATOSHI
SU-NAKA

濱野智紗都

京都府出身。物心ついた頃から夢はボートレーサー。京都東映にて時代劇を中心に子役をしていたことも。99期の養成所試験に一発合格したが、ケガで無念の途中退所。その後、ピットリポーターやインタビューアとしてボートの世界に飛び込んだ。将来の夢は小料理屋の女将になること。

ちいちゃん ピットこぼれ話



ピットでお会いすると「いつもJLC見てます！」と声をかけてくれる佐藤航選手。普段は蛍光ピンのカッパのイメージが強いのですが、徳山のレディースVSルークイズでは、全身黒の装いでピットを歩いていました。埼玉の若手選手数人で二郎系ラーメンを食べ歩いていく「大蒜卍會」というグループで作ったジャンパータイプの

ウェア。背面と腕などの位置にゴールドの刺繍がガッツリ入っており、漫画「東京リベンジャーズ」がモチーフだとか。それにプラスして、佐藤選手はワークマンで見つけた黒の作業用パンツと太めのベルトを合わせてつなぎ風にしたりオリジナルバージョン。まさに特攻服でした(笑)。

そんな佐藤選手ですが、いつもメラメラしていて「ルーキーシリーズの売り上げが低いのが悔しい。どうしたらもっとルーキーの面白さを伝えられるか」。もっとたくさんの方にレースを見てもらいたいんですよね」と話しています。いつも売り上げを注視しているらしく、好調な女子戦と比べて悔しい思いがあるんだとか。「例えるならプロ野球より甲子園って感じで泥臭くていいと思うんですよね!」と熱く語ってくれました。

そんな佐藤選手の持ち味は「3周最後まで諦めない。僕、しつこ



いんです(笑)。あとは隙間を入れていくまくり差し! 道中握るところ」。直近の目標は「来期は絶対A1級になる! なれなければ桐生順平さんと片側の眉毛剃るって約束してるんです。師匠のシマケン(島田賢人)さんに叱られるくらいじゃ足りないって言われてるんです」。今年には戸田のお正月開催で強力メンバーに混じって優出3着と上々の出だし。まずは約束通りA1級に昇格し、若手の特攻隊長として早く記念レースで風穴を開けて欲しい!

